

## オーストラリア金融政策（2023年8月）

## 2会合連続の政策金利据え置き

2023年8月1日

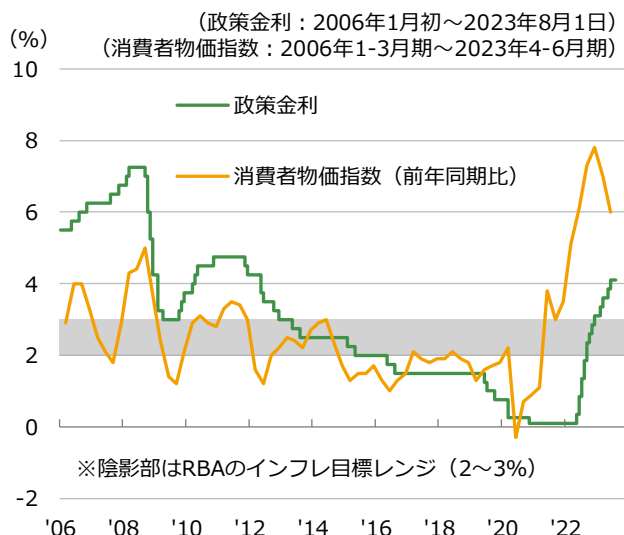
## 既往の利上げの効果とインフレ高止まり要因との綱引きに注目

RBA（豪州準備銀行）は8月1日（現地）の理事会で、政策金利を4.10%に据え置くことを決定しました。7月26日に発表された4-6月期消費者物価指数が前年同期比+6.0%と、市場予想の+6.2%や5月時点のRBAの予想である+6.3%を下回ったことなどから、市場の利上げ期待は一頃より低下していました。しかし、利上げ予想も依然少なくなかったため、発表直後は小幅な金利低下と通貨安の反応となりました。

声明文では、サービス価格が高止まりするリスクや先行きの不確実性が大きい点を指摘しつつも、昨年5月以降に政策金利を計4%ポイント引き上げた効果が出ており、今後もこの傾向は続くとの見解を示しています。例えば、可処分所得に占める住宅ローン返済額（繰上返済除く）の比率は過去最高水準ですが、追加利上がなくとも、ローン金利の見直し時期の到来により、この比率が更に高まると予想されるなど、既往の利上げの効果が時間差で今後も表れるとみられます。このため、個人消費がより減速し、インフレも一層の抑制が想定されるため、政策金利据え置き決定に至ったと考えられます。

今後の方針は引き続き「妥当な期間内にインフレ率を目標に戻すことを確実にするため、いくらかの更なる金融引き締めが必要になるかもしれない」としています。政策決定は今後のデータとリスクの評価に依存しますが、家賃の上昇加速の可能性や、7月からの最低賃金と電気料金的大幅引き上げ、その波及効果を勘案するとインフレ高止まりのリスクもあるため、利上げ終了の明示にはまだ時間を要しそうです。

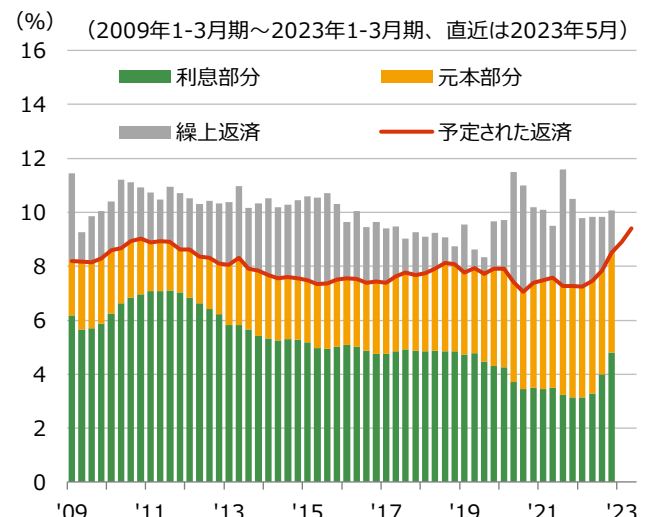
## 豪州：政策金利と消費者物価指数



※政策金利は決定日ベース

（出所）ブルームバーグ、豪州統計局

## 豪州：住宅ローン返済額（対可処分所得比）



※予定された返済＝利息部分＋元本部分

※棒グラフは2022年10-12月期まで

（出所）RBA

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management